



須釜小学校だより

すがまっ子

<教育目標>

- すなおで思いやる子ども（徳）
- がまんづよくやりとげる子ども（体）
- まなびあう子ども（知）

文責：校長 No.1 R4. 4. 18

新学期がスタートしました！

黄色や赤の美しい花々があちらこちらに咲き出す華やかな季節になりました。こうして通常どおりに始業式や入学式ができることのありがたさを実感することができた、格別にうれしい春になりました。

令和4年度の新入生は13名でした。過日行われた入学式では、担任からの呼名に元気いっぱい返事をすることができました。小学生になったという自覚をもって、きちんとした態度で式に臨む姿にたくましさを感じられました。また、参加した5・6年生も元気な声で校歌を歌い、新入生を歓迎してくれました。全校生86名のよりよい成長につながるよう、ご家庭と地域の皆様との連携を深めながら、教育活動を進めてまいります。

第1学期始業式(校長の話)

2年生から6年生の皆さん、進級おめでとうございます。またこうして、元気な皆さんに出会えて本当にうれしく思っています。今皆さんが感じている「ワクワク・ドキドキ」の気持ちと、「今年は、頑張るぞ」という気持ちで膨らんできていると思いますが、その気持ちを大事にしていってください。みなさんならできます。信じています。そこで、新年度にあたって、大切なことを二つお話しします。

まず、1つ目は、「学校は学び合うところ」だ、ということです。誰でも将来の目標や夢を持って、努力してその夢を叶えたいと思っているはずですが、勉強はテストで高い点数を取るためだけにするものではなく、人として必要なことを身につけるためにするものなのです。たくさんの知識は人の発想、考え方を豊かにしてくれます。考えることや正しく判断するための情報は、多ければ多いほどいいんです。だから、将来の夢の実現に向け、学校の勉強や自分の興味・関心のあることについて、深く追究して行ってほしいと思います。失敗は怖くありません。やり直せばいいんです。ぜひ、チャレンジしてください。

2つ目は、「学校は友だちと仲良くするところ」だ、ということです。学校では、様々な環境で育った皆さんが集団で学習したり、生活したりするわけですから、当然考え方の違いが出てきます。時にはぶつかり合うこともあるでしょう。しかし、自分一人ですることなど、たかが知れています。目標を共有する仲間との出会いは、自分を何倍も大きくしてくれるはずですが、ぜひ、人と出会った意味をしっかりと考え、そのよさに気付いて、活かすべきだと思います。よく、「チャンスの神様の前髪を掴め」といわれます。「出会い」というチャンスの神様には、後ろ髪がないから、普段から、ぐっとつかめるように準備をしておきなさいということを言っているのだと思います。目標をもって、人とのかかわり合いを大切にしていってください。

須釜小学校の教育目標について

『豊かな心を持ち、社会の変化に主体的に対応できるたくましい児童の育成』

玉川村の教育施策を受けて、子どもたちが将来の夢を持ち、夢を実現するために必要な資質を育成するために、

- 人大切にする力
- 自分の考えをもつ力
- 自分を表現する力
- チャレンジする力
- 自分で自分を評価する力

等の力を養いながら、初等教育の充実を図ってまいります。

